2025年度
環境経営レポート

対象期間：2024 年 10 月～ 2025 年９月

発行日 2026 年 1 月 15 日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
認証番号0013613

優良
優良産廃業者認定制度

株式会社デベロップ岡山

目　次

ご挨拶、環境経営方針、活動指針 …… 2

組織の概要 …… 3

許可の内容 …… 4，5

施設等の状況、中間処理施設、認証・登録の対象組織 …… 6

環境経営目標およびその実績 …… 7

環境活動計画および取組結果とその評価、次年度の取組内容 …… 8

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反，訴訟などの有無 …… 8

代表者による全体の評価と見直し・指示 …… 9

環境活動の紹介 …… 9

ご 挨 拶

弊社は 1987 年の設立以来、廃棄物処理業者様と連携し、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を安心安全に収集運搬しております。また、昨今の環境問題に配慮し、今まで以上に廃棄物の特性に合わせた適正な処理方法をご提案しております。

環 境 経 営 方 針

株式会社デベロップ岡山は、循環型社会の一員であることを自覚し、お客様や地域社会への信頼関係を高められる様、産業廃棄物処理業における運搬コストの削減、または廃棄物のリサイクル向上に勤め、継続的な環境マネジメントシステムの運用・構築の改善を誓約致します。

活 動 指 針

1. 二酸化炭素排出量抑制のため、ガソリン・軽油の使用量を削減します。
2. 産業廃棄物の再資源化に取組み、リサイクル率の向上を図ります。
3. 環境と燃費効率に配慮した車両整備の適正管理を行います。
4. 当社事業に関係する環境関連法令を遵守します。
5. SDGs に賛同し、各ゴールに向けた取組を行ないます。
6. 町内清掃など地域活動に積極的に参加します。

改訂日：2023 年 1 月 25 日
株式会社デベロップ岡山
代表取締役　田口　勝

組 織 の 概 要

（1）名称及び代表者名

株式会社デベロップ岡山
代表取締役　田口　勝

（2）所在地

本　　社：岡山県岡山市南区中畦1118－3
藤田車庫：岡山県岡山市南区藤田816

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者／　森廣　俊裕
EA21　担当者　／　新美　晶子
TEL.086-298-3125
E-mail develop@orange.ocn.ne.jp

（4）事業内容

1. 産業廃棄物収集運搬業
2. 産業廃棄物中間処理業（移動式破砕）
3. 特別管理産業廃棄物収集運搬業
4. 一般廃棄物収集運搬業
5. プラント内各種清掃作業
6. 再生資源の加工・販売

（5）法人設立年月日

1987年4月13日

（6）資本金

1,000万円

（7）事業の規模（受託廃棄物の処理実績）

（2024.10.1 ～ 2025.9.30）

売上高 395 百万円

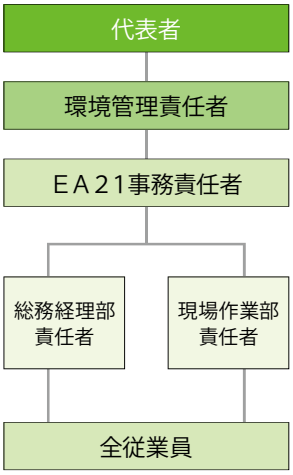
産業廃棄物	収集運搬量	14,486t
（※特別管理産業廃棄物 444t 含む）		
産業廃棄物	中間処理量	0.70t
一般廃棄物	収集運搬量	866t
再生資源	収集運搬量	274t
	合計	15,626t

	事務所	駐車場・藤田車庫
従業員（パート含む）	27人	
延べ床面積（㎡）	41	4,905

（8）事業年度

10月～翌年9月

（9）組織図



役割・責任・権限	
代表者	環境経営に関する統括責任
	環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能を準備
	環境管理責任者を任命・実施体制の構築
	経営における課題とチャンスの明確化
	環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	エコアクションに関連する各種計画書、集計、取りまとめの承認と実施
	代表者による全体の評価と見直し・指示の実施
	社員に対する環境への取組教育
環境管理責任者	エコアクションに関連する各種計画書、集計、取りまとめの確認
	緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括
	環境経営レポートの確認
	環境関連法規制等取りまとめ表の作成
ＥＡ21事務責任者	エコアクションに関連する各種計画書、集計、取りまとめの作成
	環境負荷の及び環境への取組自己チェック
	環境経営計画の実績集計
	環境経営レポートの作成
現場作業部責任者	エコドライブなど環境経営方針に沿った現場作業を各社員に指導
	各車担当者とのコミュニケーションを図り、適正な車両管理を指導
総務経理部責任者	自社排出一般廃棄物の分別・削減対策
	節水・節電など事務所周辺の環境担当
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許 可 の 内 容　令和８年１月９日

（１）産業廃棄物収集運搬業

許可番号	岡山県許可　03301005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和7年4月25日
許可有効期限	令和12年4月15日
事業の範囲	（１）積替え又は保管の有無　無 （２）取り扱う産業廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類、ばいじん

許可番号	広島県許可　03400005212　≪優良認定取得≫	優良 優良産廃業者認定制度
許可年月日	令和６年12月8日	
許可有効期限	令和13年12月7日	
事業の範囲	（１）収集運搬（積替え・保管は含まない） （２）取り扱う産業廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類及びばいじん	

許可番号	兵庫県許可　02806005212　≪優良認定取得≫	優良 優良産廃業者認定制度
許可年月日	令和5年11月18日	
許可有効期限	令和12年11月17日	
事業の区分	収集運搬業（積替え・保管を含まない）	
廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	

許可番号	山口県許可　03500005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和4年10月18日
許可有効期限	令和９年10月17日
事業の区分	収集運搬業（積替え・保管を含まない）
廃棄物の種類	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、がれき類、ばいじん

許可番号	大阪府許可　02700005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和8年3月2日
許可有効期限	令和15年3月1日
事業の区分	収集運搬業（積替え・保管を含まない）
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず

（２）特別管理産業廃棄物収集運搬業

許可番号	岡山県許可　03351005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和5年7月3日
許可有効期限	令和10年6月30日
事業の区分	特管運搬（積替え・保管は含まない）
廃棄物の種類	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃水銀塔、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん

許 可 の 内 容　令和5年1月20日

許可番号	兵庫県許可　02856005212　≪優良認定取得≫
許可年月日	令和7年7月8日
許可有効期限	令和14年7月7日
事業の区分	収集運搬（積替え・保管は含まない）
廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん

優良
優良産廃業者認定制度

許可番号	広島県許可　03450005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和3年5月29日
許可有効期限	令和8年5月28日
事業の区分	収集運搬（積替え・保管は含まない）
廃棄物の種類	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿、燃え殻、汚泥、ばいじん

許可番号	山口県許可　03550005212　※優良認定取得予定
許可年月日	令和4年8月16日
許可有効期限	令和９年７月29日
事業の区分	収集運搬（積替え・保管は含まない）
廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃石綿等

（3）産業廃棄物処分業

許可番号	岡山市許可　08320005212
許可年月日	令和3年6月2日
許可有効期限	令和8年5月20日
事業の区分	中間処理 [破砕（移動式）]
産業廃棄物の種類	廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
施設	設置場所：許可条件のとおり 設置年月日：平成13年5月21日 処理能力：廃プラスチック類 2.4t/日、紙くず 2.4t/日、木くず 4.0t/日、繊維くず 1.0t/日、ゴムくず 4.2t/日、金属くず 9.0t/日、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず 8.0t/日（1日8時間稼働）

（4）一般廃棄物処理業

許可番号	岡山市指令環境第 1979-32　4038
許可年月日	令和8年4月1日
許可有効期限	令和10年3月31日
許可の種類	一般廃棄物（事業活動に伴うごみ）の収集・運搬

（5）古物商

許可番号	岡山県公安委員会　721130016110
交付年月日	平成13年5月9日

（6）金属くず取扱業

許可番号	岡山県公安委員会　338
交付年月日	令和5年3月27日

積替え保管の有無

・無　し

施 設 等 の 状 況

●産業廃棄物収集運搬用車両

車　種	台　数
11t脱着式ダンプ車	4
8t脱着式ダンプ車	5
4tパッカー車	2
2tパッカー車	2
13tウイング車	3
4t平床車	1
2tパワーゲート車	2

車　種	台　数
3tパワーゲート車	1
4tﾊﾞｹｯﾄ付ダンプ車	1
4t脱着式ダンプ車	4
2tダンプ車	2
3tバキューム車	2
6t強力吸引車	1
10t強力吸引車	2

●その他関連設備

設　備	台　数
フォークリフト	4
パワーショベル	1
プレス機	3
タイヤショベル	1

他…

中 間 処 理 施 設

中間処理施設（処理工程図含む）の種類　：　破砕（移動式破砕）

処理工程図

認証・登録の対象組織・活動（全組織・全活動）

登録組織名：　株式会社デベロップ岡山
対象事業所：　事務所、駐車場、藤田車庫（2023 年新設）
活　　動：　産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業（中間処理）
特別管理産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業
プラント内各種清掃作業

環境経営目標およびその実績

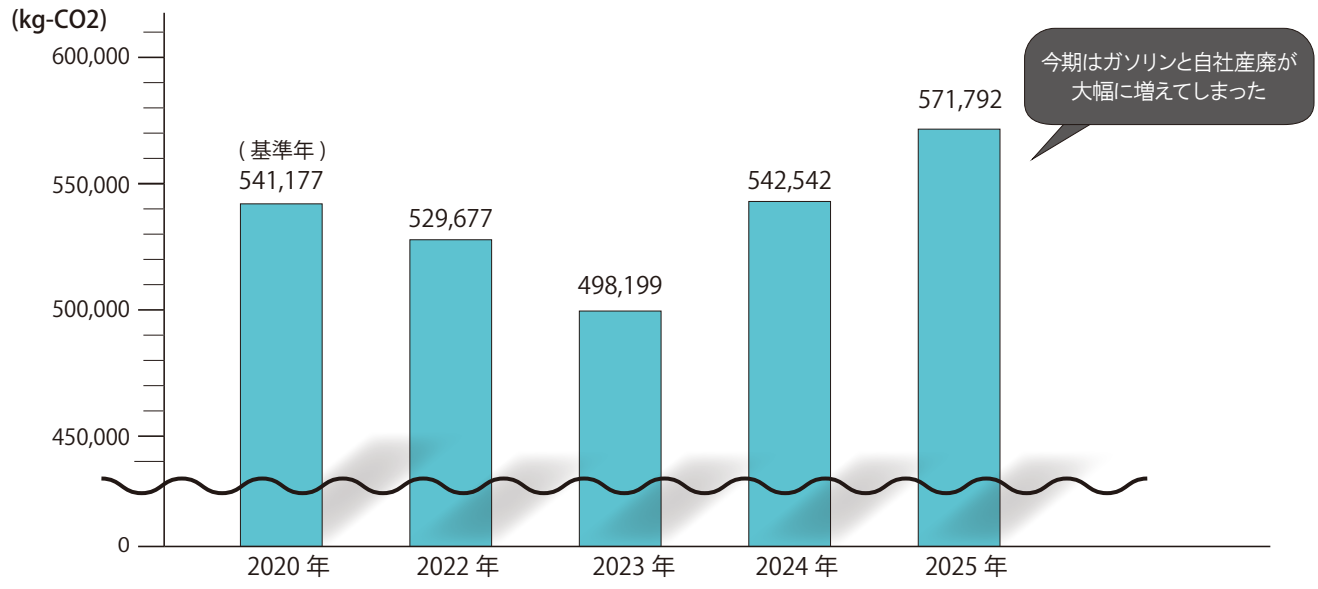
期間中の実績と中長期目標

項目	年度	基準値 (基準年度) 2020 年	実績（2024 年10月～2025 年9月） 目標	実績	達成率	達成状況	2026 年 目標	2027 年 目標
Ⅰ.二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	541,177	—	571,792	—	—	—	—
電力使用量削減	kWh	27,136	26,051	17,861	145.9%	○	25,779	25,508
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
ガソリン使用量削減	L	1,144.0	1,098	2,871	38.2%	×	1,087	1,075
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
軽油使用量削減	L	202,577	194,474	215,006	90.5%	×	192,448	190,422
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
Ⅱ.廃棄物排出量の削減 一般廃棄物の削減	kg	710	682	620	110%	○	675	667
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
産業廃棄物の削減 (自社排出分)	kg	4,286	4,115	4,870	84.5%	×	4,072	4,029
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
Ⅲ.水使用量の削減	kg	177.0	169.9	167.0	101.7%	○	168.2	166.4
	対基準 (%)	100	(△4%)				(△5%)	(△6%)
Ⅳ.環境配慮 受託した廃棄物の収集運搬における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上)	t/L	0.058	0.060	0.071	118.3%	○	0.061	0.062
	対基準 (%)	100	(+4%)				(+5%)	(+6%)
受託した産業廃棄物の環境配慮 (再資源化の推進)	再資源化率 (%)	100	100	100	100%	○	100	100
Ⅴ.会社周辺の清掃	回 / 年	6 回 / 年	12 回 / 年	4 回 / 年	33.3%	×	12 回 / 年	12 回 / 年

※電力排出係数は中国電力調整後 0.585kg－CO2/kWh、中国電力調整後 0.520kg－CO2/kWh（省エネ特約）を使用
※化学物質（PRTR 対象物質）は使用していないため目標値を設定していません。

二酸化炭素総排出量 (kg-CO2) の推移

※2021 年は EA21 初年度につき 3 カ月間の運用実績のため除外



環境活動計画および取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	コメント
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・エアコンの適正な温度管理	○	—	⇒各部屋でのエアコンの適正管理を実行した
・大型機械等の使用を減らす	○	継続	⇒大型機械の使用回数を大幅に減らした
・空調にサーキュレーターを活用する	○	—	⇒サーキュレーターを導入しエアコンの効率化を行った
		新規	⇒再生エネルギー買取量を増やしていく
		新規	⇒工場内の設備を省エネ設備へ変更及び改善
自動車燃料(軽油)による二酸化炭素排出量の削減			
・エコドライブの継続	×	継続	⇒エコドライブが思い通りに浸透していない
・担当している車両への管理意識を高める	○	—	⇒車両担当制で車両整備が滞りなくできた
		新規	⇒ガソリン車のアイドリング時間の短縮
		新規	⇒費用面に余裕ができれば電動リフトの導入
産業廃棄物の削減(自社排出分)			
・整理整頓とリサイクルを進める	×	継続	⇒倉庫の解体を行った際の産廃が増えた
		新規	⇒整理整頓と廃棄物の再利用や売却の活用
一般廃棄物の削減			
・電子マニフェスト・電子契約を顧客に勧めていく	○	—	⇒電子マニフェストやメール活用の増加
・業務の見直しで、紙の使用量を減らす	○	継続	⇒ペーパーレス化を進め、紙の使用量を減らした
		新規	⇒食品のプラ容器などの可燃物の削減
		新規	⇒従業員の分別ルールの再教育を行う
節水			
・こまめな止水を心掛ける	○	—	⇒事務所および洗濯時のこまめな止水ができた
・新車庫での洗車時の節水呼びかけ	×	—	⇒夏場の洗車時の水量が増えた
		新規	⇒洗車の方法なども研究し節水に繋げる
収集運搬における環境配慮(収集運搬車の燃費向上)			
・適切な運搬ルートの選択を行う	○	継続	⇒大型車の積合が増え運搬効率が上がった
・車両の整備回数(タイヤ空気圧等)を増やす	○	継続	⇒車両の適正な整備ができている
		新規	⇒低燃費車への車両の買替え
受託した産業廃棄物の環境配慮(再資源化の推進)			
・熱回収を行っている処分場に持込み、	○	新規	⇒再資源化率100%を達成した
再生資源率100%を目指す			
社会貢献活動(会社周辺の清掃)			
・清掃に当たれる人員の確保を工夫する	×	継続	⇒欠員が出る等で人手が回せなかった
・町内会等の要請に応じた会社周辺の清掃	○	継続	⇒町内会の要請により地域清掃を実施した

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反，訴訟などの有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
産業廃棄物処理法	収集運搬・処理業者の許可確認、契約等	遵守
道路交通法	道路交通法に定める法律の遵守	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査実施	遵守
道路運送車両法	車両の日常、定期点検、整備及び記録	遵守
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
消防法	消防訓練の定期点検	遵守
計量法	計量器の法定定期検査	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施と記録(保管)	遵守

環境関連法規制等の遵守情報の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局によりの違反等の指摘は、過去３年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

項　目	変更の要否
環境経営方針	要・㊐
環境経営目標	要・㊐
環境経営計画	要・㊐
実施体制	要・㊐
その他	要・㊐

　2025年度の日本経済は、あらゆる業界で再編の動きが加速し、製造業においても規模縮小や工場閉鎖が相次ぐなど、依然として厳しい状況が続いております。国内では、いわゆる2024年問題や深刻な人手不足、物価上昇に伴うインフレなど、多くの不安要素が重なり、先行きへの懸念が高まっています。

　私たちの業界においても、価格転嫁が思うように進まないなど、経営環境は一段と厳しさを増すことが予想される中、当社は優良認定の取得をはじめ、他社との差別化を図る取り組みを進めてまいりました。また、全従業員に対し、省エネ運転の徹底や光熱費削減の実践を促し、日々の業務改善に努めております。

　また、エコアクション 21 の取り組みを最大限に活かし、掲げた目標の達成に向けて着実に歩みを進めることで、経営と環境保全の両立を図り、循環型社会の一員としての責務を果たしてまいります。

2026 年 1 月 9 日
代表取締役　田口　勝

環境活動の紹介

会社周辺の清掃の様子

法規制等遵守と、安全対策会議の様子

各車両の担当制度を設け、車両管理の意識が向上